領域	視点
	自ら行きたい場所に移動するための手段を取れるかどうか。乗り物を操作する、歩く、走る、昇降する、様々な交通を用いることによる移動を行えているかどうか。
移動についてA運動・	◆運動器 最低、確認が必要な項目 □立ち上がり・片足立ちが介助やどこかにつかまるなど支えなしに出来る。 ●バランスや関節・筋力に問題があり、転倒傾向が大きいと考える □歩行状況(歩行レベル)・・・ 室内( )野外( ) ●持久力不足や痛み等の運動の継続性が困難でADLへの影響と考える □公共交通機関を使っての外出が介助なしにできる ●生活能力や生活範囲の制限が考えられ、移動手段の工夫が必要になる
	□転倒傾向 □移動範囲 □移動手段
В	家事(買い物・調理・掃除・選択・ごみ捨て等)や、住居、経済の管理、花木やペットの世話などを 行っているかどうかの状況
日常生活・家庭生活について	◆栄養 最低、確認が必要な項目:献立を考え、調理することについての状況 □買い物 □献立を考える □調理 → 自分で食事の用意をしているか ●調理技術および食事選択能力に問題があると判断sる □最終的に「食べることが楽しい」と感じているか:
	□選択 □素地 □整理整頓 □ごみ捨て □身だしなみへの関心 □電気機器類の操作□火の始末 □電話の利用 □金銭管理(家計の管理) □役所や金融機関等の手続き(重要な手続き) □悪質商法への注意 □情報への関心
	状況に見合った社会的に適切な方法で、人々と交流しているか 家族・近隣の人との人間関係が保たれているか 仕事やボランティア活動、老人クラブや町内会行事への参加意欲・関わりの変化(頻度等)は どうか。
С	家族内や近隣における役割の有無などの内容や程度、また、喪失感、孤独感等はどうか。
コミュニケ	社会参加:  □活動性 □外出頻度 □外出目的 対人関係:内容、頻度、依存性等 □家族との交流 □近隣との交流 □友人・知人との交流
・対人関係・	コミュニケーション 口自己の意思の表出ができる 口他者の話の内容が理解できる